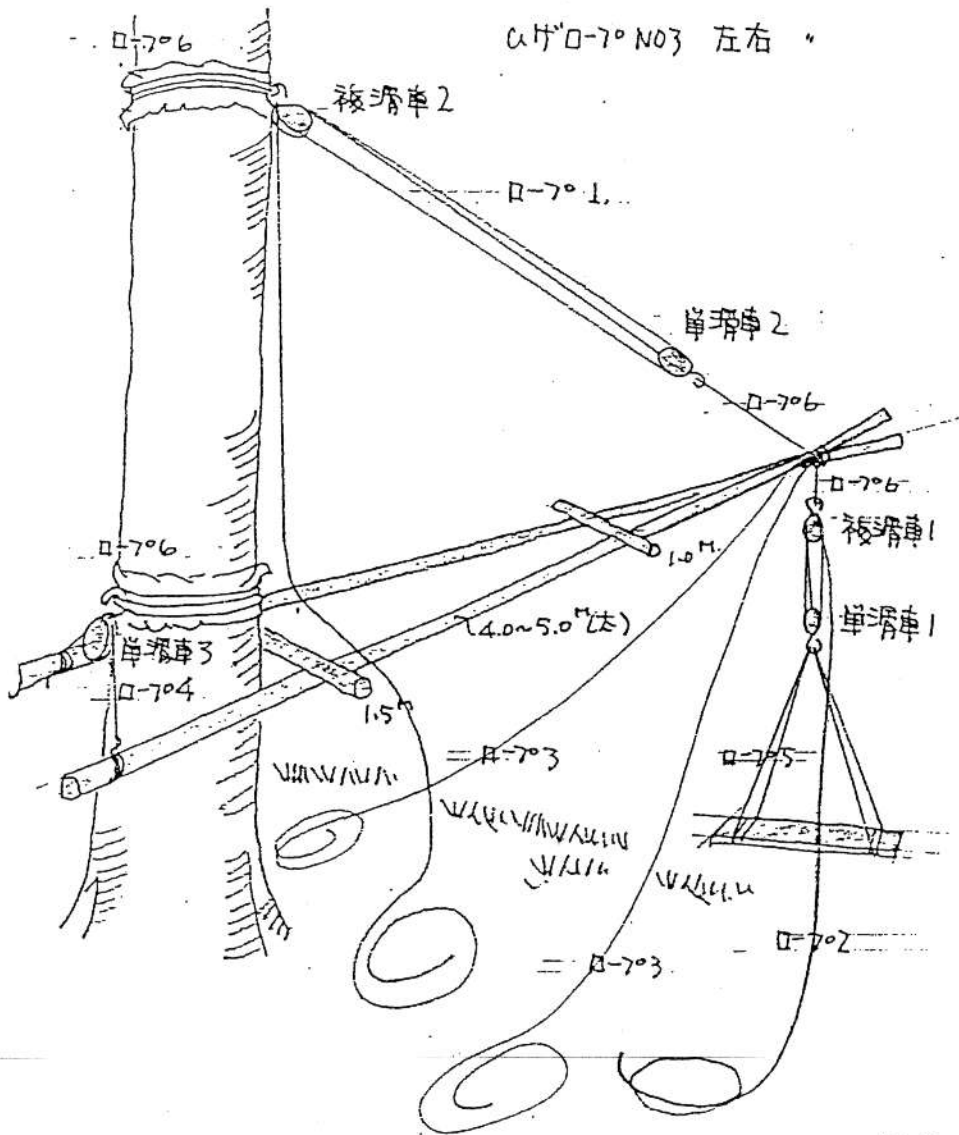


№7 起重機 (上下, 左右水平移動可能)

親口-7° N01 水平移動

子口-7° N02 上下

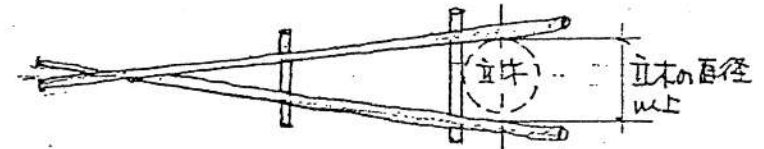
ウチ口-7° N03 左右



- | | | | | | |
|---------------------------|----------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|
| 1 丸太 | 4.0~5.0 ^M | 2 ^本 | 8 台付口-7°(N06) | 5 ^M | 4 ^本 |
| 2 " | 1.0~1.5 ^M | 2 | 9 荷台口-7°(N05) | 5 ^M | 2 ^本 |
| 3 親口-7°(N01) | 25 ^M | 1.5 ^{CM} | 10 根元口-7°(N04) | 3 ^M | 1 ^本 |
| 4 子口-7°(N02) | 20 ^M | 1.5 ^M | 11 滑車(単車) | | 3 ^台 |
| 5 ウチ口-7°(N03) | 20 ^M | 1.0 ^{CM} | 12 " | (複車) | 2 ^台 |
| 6 立木養生麻袋 | | 4 ^本 | 13 椅子用板又は丸太 | | 1 ^本 |
| 7 荒存水(約3.0 ^M) | | 10 ^本 | | | |

A 準備

1 地上にて2本の丸太を用いて二又を作る。



注1 丸太の細い所を交る處(滑車を付ける所)にするとき荷物を掲げる時抜れる。

注2 丸太の根元の向隅は取付ける立木の幹の太さより広くする

注3 横丸太の取付位置は丸太根元より立木の幹の直径+30^{CM}以上とする

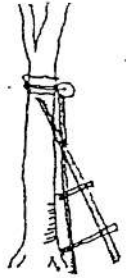
2 立木の幹に麻袋で養生をして単滑車3を取付ける。

注1 取付ける高さは約1^M~1.5^M

3 立木の上のネに後滑車2を取ける。

注1 取付ける高さ約40M~45M

注2 取付けるネ法は下図を参考する。



注1 準備1で作ったニ叉も使用する。

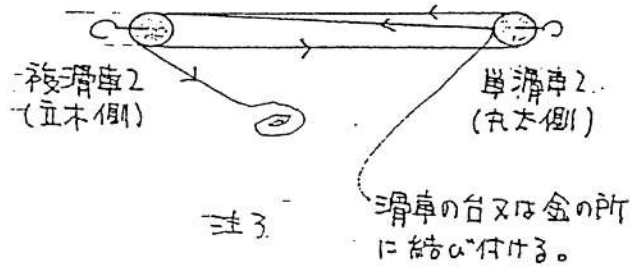
注2 高さはニ叉の交点より少し上。

4 親ロープを単滑車2に強く固定し他の端を後滑車2・単滑車2・後滑車2と通す。

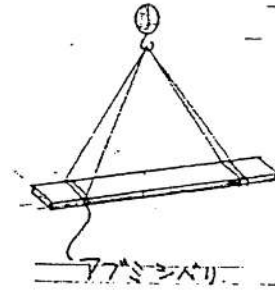
注1 後滑車2に親ロープを通はあやな11と

高い所で後で手がつかない。

注2 通す親ロープはねじれな11様に交わらな11様に通す。

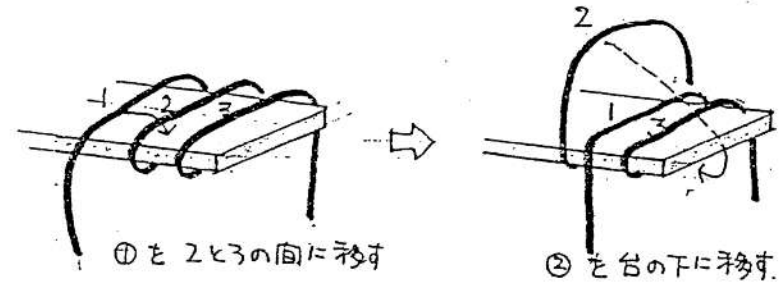


5 椅子台を組む。

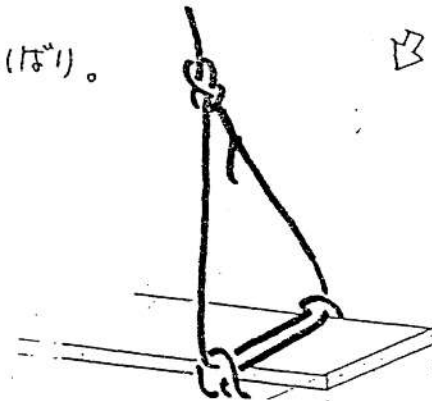


注1 4本ロープは同じ長さの所で滑車に固定する。

注2 椅子台は揚げた時には水平になること



「あがみ(ばり)。



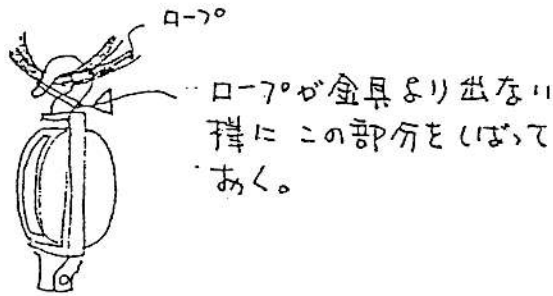
B 組み立て。

1 準備1で作った丸太の交点に単滑車2、
複滑車1を取ける。

注1 単滑車2は上側。

注2 複滑車1は下側。

注3 滑車は「ハズレ」ない様に金の所をばる。



2 ロープ2 (子ロープ) の端を単滑車1に固定して
単滑車1 → 複滑車1 → 単滑車1 → 複滑車1
と通す。

注1 ロープは交わらないこと。

注2 ロープはねじれないこと。

3 アームの根元 (準備1で作った台) を立木
に「いサム」

4 アームの2本の丸太の根元をロープ4を
用いて結び滑車3を通して吊る。

5 ひげロープ (誘導ロープ) を取りつける。

C 起す。

1 親ロープ (ロープ1) を引張る